

【別紙1】設備省エネ診断に関わる調査について

1. 調査・診断対象

原則として大阪府内の、おおよそ延べ面積 30,000 m²程度までの建物。建物用途は特に問いませんが、個々に協議させていただきます。

ウォークスルーで調査しますので、使用状態・管理状態なども確認させていただきます。

2. 設備省エネ診断調査方法

(1) 事前情報収集（事前の借用を希望）

- ① 過去3年間の光熱費や使用量等の確認
- ② 既設竣工図書（改修図書も含みます）

(2) 現地調査（原則 平日1日間）

- ① 照明、空調等の設備機器の設置、運転状況等を目視確認

（必要に応じ、室内温湿度、機器の運転電流値や空調吹出し風量などを計測）

主な調査箇所：各階の機械室、電気室

屋上、屋外

執務室等（代表的な部屋）

トイレ（数か所）

- ② 既存竣工図書（事前借用が困難な場合）
- ③ 建物改修履歴、設備機器更新履歴、設備メンテナンス記録の確認
- ④ 管理ご担当者へのヒヤリング

(3) 調査報告書の作成とご報告（現地調査1か月後を目処）

- ① 省エネ診断書
- ② 省エネ格付結果報告書

3. ご了承事項

本事業は大阪府より受託している事業のため、調査結果・診断結果について、すべて大阪府にも提出いたします。なお報告事項の内、一般開示が不可の情報については大阪府として非開示としていただきますが、統計データなどで建物が特定できないかたちで使用することがあります。当協会として調査内容に関する守秘義務は遵守します。

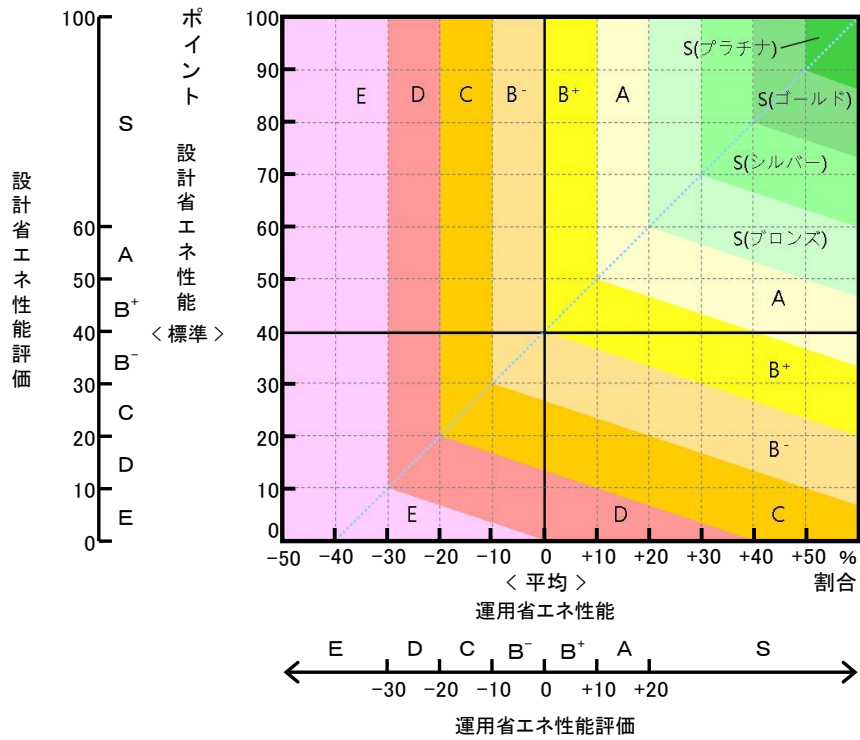
【別紙2】省エネ格付について

1. 省エネ格システム

公益社団法人空気調和・衛生工学会近畿支部が作成した「低炭素型環境省エネビル評価システム」を使用し、格付評価を行います。

2. 評価は、設計評価と運用評価（管理面で省エネ評価）の2軸評価で行います。

- ・各省エネ性能で、S、A、B、C、D、Eランクの評価を行い、各軸での改善効果を見える化
- ・総合評価としては、10ランクを設定し、改善効果を見える化
- ・Sランクはブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナというプレミアムランクを設定



【別紙3】 必要資料、現地調査に関してご了解いただく事項

1. 事前情報収集資料

- (1) 光熱費の使用量と使用料金
 - ① 電気（全日電力、深夜電力（使用している場合））
 - ② 水道（上水、中水、工業用水）
 - ③ ガス（都市ガス、LPG）
 - ④ 油（軽油、重油など）
 - ⑤ 地域冷暖房の場合は。温水・冷水・蒸気
- (2) 電気、ガス、油の用途別使用量と使用料金（データとしてあれば）
- (3) 竣工図書
 - ① 建築図
 - ② 設備図（電気・衛生・空調・昇降機）
 - ③ 設備機器完成図・納入仕様書、試験成績書など
- (4) 建物の増改築。改修の履歴。機器更新の履歴
- (5) メンテナンス（保守点検）記録（調査時に閲覧させていただく場合があります）
 - ① 日常点検記録（日報、月報）
 - ② 機器類の修理記録、機器単体の更新記録
 - ③ 保守契約に基づくメーカーの点検記録

2. 現地調査時のヒヤリング内容

- (1) 各設備機器類の稼働状況
 - ① 冷暖房切り替え時期（中間期の有無）
 - ② 日常運転スケジュール（ON,OFF 時間）
 - ③ 24 時間稼働の有無
- (2) 特殊用途部分の有無
 - ① データセンター、飲食店などの負荷が異なる用途・部分
 - ② 使用時間帯が違う部分
- (3) 空室の有無
- (4) 運用上での設備機器などの不具合
- (5) 入居人員、外来人員等（概略で可）

3. ご了承事項

- ① 事前収集資料類の借用（借用書を提出します）
- ② 館内。館外のウォークスルー時の入室許可、立会い
- ③ 写真撮影（調査日当日事前に調整させていただきます）